

抗 HHV-6 gQ1 抗体、マウスモノクローナル(119)

商品コード	65-200
容量	100 µg
保存	-20℃
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	無血清培地で生産し、温和な条件のもとで独自のクロマトグラフィー手順で精製した。SDS-PAGE による純度、90~95%。
抗原	大腸菌で発現した組み換え体 HHV -6A の gQ1 タンパク質（アミノ酸 3-422, N 末に His6 タグ付き）。
アイソタイプ	マウス IgG1 K
反応性	HHV-6A および HHV-6B の gQ1 と反応。
特記事項	キーワード: ヒトヘルペスウイルス 6、U100 遺伝子、糖タンパク質、CD46、CD134、Betaherpesvirinae, Roseolovirus, 突発性発疹、免疫低下状態
アプリケーション	1) ウェスタンブロッティング（アッセイ依存） 2) 免疫沈降（アッセイ依存） 3) 免疫蛍光染色および免疫細胞化学（~200 倍希釈） 4) フローサイトメトリー（アッセイ依存） 5) ELISA（アッセイ依存）
背景	ヒトヘルペスウイルス 6 型（HHV-6）は、ヒトヘルペスウイルス 6A（HHV-6A）およびヒトヘルペスウイルス 6B（HHV-6B）の総称である。これらの近縁ウイルスは、ヒトが主要な宿主であると知られている 9 つのヘルペスウイルスによる感染のうちの 2 つである。HHV -6A および HHV -6B は、ベータヘルペスウイルス亜科、ロゼオロウイルス属に属する二本鎖 DNA ウイルスである。HHV-6A および HHV-6B は、検査をするとほぼヒト集団のすべてに感染している。HHV -6A と HHV-6B の間の全体のヌクレオチド配列の同一性は 90%であり、其れ等は、2012 年より別種に分類された。 HHV-6A は神経毒性がより強いとみなされており、多発性硬化症のような神経炎症疾患患者により頻繁にみられる。 HHV-6B、主要な感染は、一般的な小児病である突発性発疹（また小児バラ疹または第 6 病として知られる）の原因である。さらに、移植レシピエントによくみられる HHV-6B の再活性化は、脳炎、骨髄抑制および肺炎など数種類の臨床症状を引き起こすことがある。 HHV-6 の U100 遺伝子によってコードされる gQ1 は糖タンパク質で gH、gL および gQ2 と共に複合体を形成し、HHV-6B では CD134 受容体へ結合するリガンドを形成し、HHV-6A では CD46 受容体に結合するリガンドを形成する。g Q1 は 2 つの異なる形で発現する；80 kDa 型と 74 kDa 型で、前者だけが gQ2, gH, gL と複合体を形成し、細胞のレセプターと結合するリガンドを形成できる。リガンドは脂質ラフトと結合する。
Data Link	UniProtKB Q9Y6B2 (EID1_HUMAN)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 65-200 抗 HHV-6 gQ1 抗体、マウスモノクローナル(119)

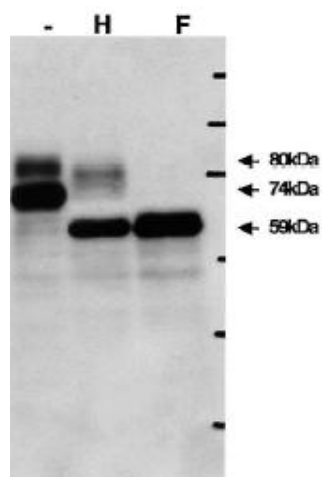


図 1. 抗 gQ1 抗体(119)を用いたウエスタンブロッティングによる HHV-6A 感染細胞における gQ1 の同定。

T 細胞株 HSB-2 細胞に HHV-6A を m.o.i 0.1 で感染させ、感染後細胞 72 時間は回収しライゼートを作成した。サンプルライゼート: (-); 無処置。(H); ペプチド N-グリカナーゼ H で処理。(F); エンドグリコシラーゼ H で処理。

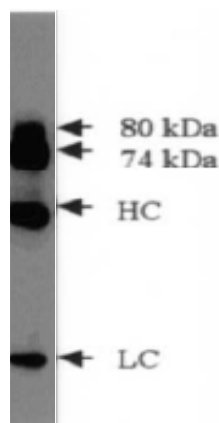


図 2. 抗- gQ1 抗体(119)を用いた HHV -6A 感染細胞ライゼートからの gQ1 の免疫沈降。HHV-6A 感染 HSB-2 細胞のライゼートから gQ1 タンパク質をアガロースビーズコンジュゲート抗- gQ1 抗体(119)を用いて免疫沈降させ、沈降物から抗 gQ1 抗体(119)を用いたウエスタンブロッティングに g Q1 を検出した。HC および LC は、それぞれマウス IgG の重鎖と軽鎖とを示す。

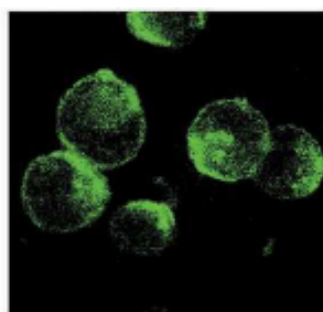


図 3. HHV-6A 感染 HSB-2 細胞における抗-gQ1 抗体を用いた gQ1 の免疫蛍光染色像。細胞は感染 3 日後に集め、冷アセトン中で固定し、FITC コンジュゲート抗- gQ1 抗体(119)で免疫染色した。特異的蛍光像は、共焦点レーザー走査顕微鏡で撮影した。

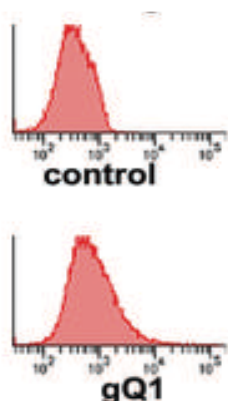


図 4. 一過性発現系における細胞表面に局在する gQ1 発現をフローサイトメトリーによって分析。293T 細胞に、gQ1 発現プラスミドを導入し、2 日後に集めた。抗 gQ1 抗体 (119) と反応させ次に FITC コンジュゲート抗マウス IgG 抗体と反応させた。ヒストグラムでは、対数目盛(x 軸)は蛍光強度を任意の単位で、リニアスケール(y 軸)は相対的細胞の数を示す。

文献: この抗体は、文献 1 に記載され、文献 1-7 で使用されている。

1. Mori Y. et al. (2003) The Human Herpesvirus 6 U100 Gene Product Is the Third Component of the gH-gL Glycoprotein Complex on the Viral Envelope. *J. Virol.* 77: 2452-2458. [PubMed 12551983](#) [Free Article](#). **WB, IP**
2. Mori Y. et al (2003) Human Herpesvirus 6 Variant A Glycoprotein H-Glycoprotein L-Glycoprotein Q Complex Associates with Human CD46. *J. Virol.* 77: 4992-4999. [PubMed 12663806](#) [Free Article](#). **WB, IP**
3. Mori Y. et al. (2004) Discovery of a second form of tripartite complex containing gH-gL of human herpesvirus 6 and observations on CD46. *J Virol.* 78:4609-16. [PubMed 15078943](#). [Free Article](#). **WB, IP**
4. Akkapaiboon P. et al. (2004) Intracellular processing of human herpesvirus 6 glycoproteins Q1 and Q2 into tetrameric complexes expressed on the viral envelope. *J Virol.* 78:7969-83. [PubMed 15254169](#) [Free Article](#). **WB, IP, IF**
5. Huang H. et al (2006) Human herpesvirus 6 envelope cholesterol is required for virus entry. *J Gen Virol.* 87: 277-285. [PubMed 16432012](#) [Free Article](#). **WB, Flow Cyt.**
6. Tang H. et al. (2010) Human herpesvirus 6 encoded glycoprotein Q1 gene is essential for virus growth. *Virology.* 407:360-7. [PubMed 20863544](#) [Free Article](#). **WB**
7. Tang H. et al (2011) Human herpesvirus 6 glycoprotein complex formation is required for folding and trafficking of the gH/gL/gQ1/gQ2 complex and its cellular receptor binding. *J Virol.* 85:11121-30. [PubMed 21849437](#) [Free Article](#). **WB, IP, Flow Cyt.**